



内田直之が、「考えたこと」「感じたこと」「学んだこと」「行動したこと」を皆様にお伝えする紙上ブログです

ボランティア・学生インターンを募集しています!メールやお電話で、お気軽にお問い合わせ下さい。



X (Twitter) Facebook YouTube

千代田の住環境をもっと快適に!



これまでの歩みと御礼

2011年に活動報告を発行して以来、おかげさまで第32号を迎えることができました。これまで、防災対策やスポーツ政策、都市計画、環境政策、地域包括ケアなど、一貫して「まちづくり」をテーマにお届けしてきました。日頃から報告に目を通して下さる皆様のお陰で、ここまで継続することが出来ました。心より感謝申し上げます。

千代田区は東京都の中心であり、歴史と伝統を守りつつ、最先端の都市政策を実践していくことが求められる地域です。私は区議会議員として3期10年にわたり、住民の皆さまと真摯に向き合い、地域の課題の一つひとつ丁寧に取り組んできました。例えば、耐震改修助成の制限撤廃、外濠公園の人工芝化、千代田区民泊条例の厳格化等々、都心の特性を活かした住みやすい街づくりに尽力してまいりました。

民間企業での25年間、環境配慮や防災・防犯といった住まいに関わる課題に対し、技術やデザイン力で応える仕事に従事。リスク管理やマネジメント手法など幅広い知識と経験を積むことが出来ました。海外赴任も貴重な財産です。事業企画室長として経営計画の策定に携わったことも、大きな経験となりました。

また、働きながら通った明治大学公共政策大学院では、地方自治や都市政策を体系的に学び、実務と理論の両面から政策を考える力を養いました。修了後も青山侑名誉教授とともに国内外を視察し、現場主義を貫いています。一方で、区議会辞職後は設計事務所の代表として、本駒込PJや北区桐ヶ丘PJなど、実際の街づくりの現場にも携わり、専門分野での経験と実績を積み上げてきました。

まちづくりへの想い

20代から続けてきたバックパッカーとしての旅では、気がつけば50カ国、200を超える街を訪れていました。歴史や文化、人々の多様な価値観に触れながら、世界を肌で感じる貴重な経験を重ねてきました。

旅は私の感性を育み、また、ひとり旅の時間は自分自身とじっくり向き合う、大切な対話の機会でもありました。海外の街を歩くたびに「自分が日本人であること」への意識が強まり、やがて街のあり方そのものに対する問題意識が芽生えていったのです。

1. 首都直下地震対策

- 旧耐震マンションの耐震診断、改修への助成拡充
- AI・IoTを活用したリアルタイム避難システムの導入
- 公共施設に、防災倉庫や避難スペースを確保

2. 地域共生・まちづくり対策

- 千代田の公園・緑地を拡大し、ヒートアイランド対策を加速
- スマート歩道と歩行者優先エリアで歩くのが楽しくなる千代田へ
- 住民参加の再開発で、落ち着きと賑わいが共存する千代田へ

3. 子育て支援対策

- 千代田区の小・中学校校庭をリサイクル可能な人工芝へ
- ICTを活用した学習の効率化と個別最適化、デジタル教育の推進
- 学童クラブの待機児童解消に向けた民間学童への補助拡充

4. 減税対策

- 住宅用地の固定資産税・都市計画税の税負担軽減
- 中小企業の法人事業税・法人住民税の軽減措置拡充
- 秋葉原のITスタートアップ企業に向けた地方税軽減措置拡充

5. 都議会改革

- 政務活動費の用途基準の明確化と情報公開の強化
- 公務と関係ない交際費など不明瞭な支出の禁止
- 政治倫理条例の制定と制裁措置の厳罰化

内田直之の5つの重点政策



Think

いま、世界は都市間競争の時代に入っています。千代田区は日本の中心であり、東京の顔として、政治・経済を牽引する存在であると同時に、多様な主体が支え合う地域社会の構築にも大きな役割を担っています。一方で、地域に受け継がれてきた歴史や伝統、文化を守りながら、都心に暮らす区民の住環境を守り、より快適なものへと進化させていく責任もあります。

いま、私たちに何か足りないと感じていること、子どもたちが希望を持って生きて行くために必要なことを「まちづくり」から考える。この夢に私は生涯をかけたと思っています。

「三つの視点」を活かした政策提言!

これまで培ってきた経験を活かし、「千代田の住環境の向上」と「減税によるゆとりある暮らし」の実現を目指したいと思います。民間企業で培った経営感覚、区議会議員としての経験、そして建築士としての専門知識、この「三つの視点」を活かし、実現可能な政策を一つずつ提案、実現していきたいと考えています。

Study

まちづくりシンポジウム2025を開催します!

ベルサール神田にて「まちづくりシンポジウム2025」を開催致します。元東京都副知事、明治大学大学院名誉教授の青山侑先生に「東京の一極集中をどう是正するか」についてご講演を賜ります。私からは「千代田区におけるまちづくり動向と課題」についてご報告させて頂く予定です。千代田区や東京のまちづくりを皆様と一緒に考える機会となれば幸いです。ぜひご参加ください!

2025年5月22日(木)18:00(事前登録制)

ベルサール神田

お問合せ:内田直之後援会

uchida@tcn-catv.ne.jp



Study

内田直之のショートムービーを公開中!

【プロフィール編】

内田直之のこれまでの歩みと人柄に触れていただけます。



【政策編】

まちづくりへの想いと具体的なビジョンを語ります。1分でサクッと見られる動画です。



ぜひQRコードからアクセスしてチェックしてみてください!

U&D・パートナーズ 一級建築士事務所 内田直之事務所



世界の街歩き

アテネ(ギリシャ共和国)
人口 63万人
面積 39km²

アテネはギリシャの首都であり、世界最古の都市の一つで、約3,400年の歴史を持ちます。古代アテネ(アテナイ)はポリス(都市国家)として繁栄し、政治・文化・学問の中心地でした。プラトンのアカデメイアやアリストテレスのリュケイオンもあ

り、西洋文明や民主主義の発祥地として、後のヨーロッパに大きな影響を与えました。

アテネの象徴であるパルテノン神殿は、アクロポリスの丘の上に建てられた古代ギリシャを代表する神殿です。紀元前5世紀に建設され、ドーリア式建築様式と大理石の46本の柱に囲まれた美しい構造が特徴です。その調和のとれたデザインは、西洋建築や芸術に大きな影響を与えました。

ギリシャは2015年、債務不履行(デ

フォルト)に陥りました。長年の財政赤字や過剰な借金に加え、公務員の高待遇や社会保障費の増加が財政を圧迫。さらに、経済統計の偽装も発覚し、国際的な信用を失いました。

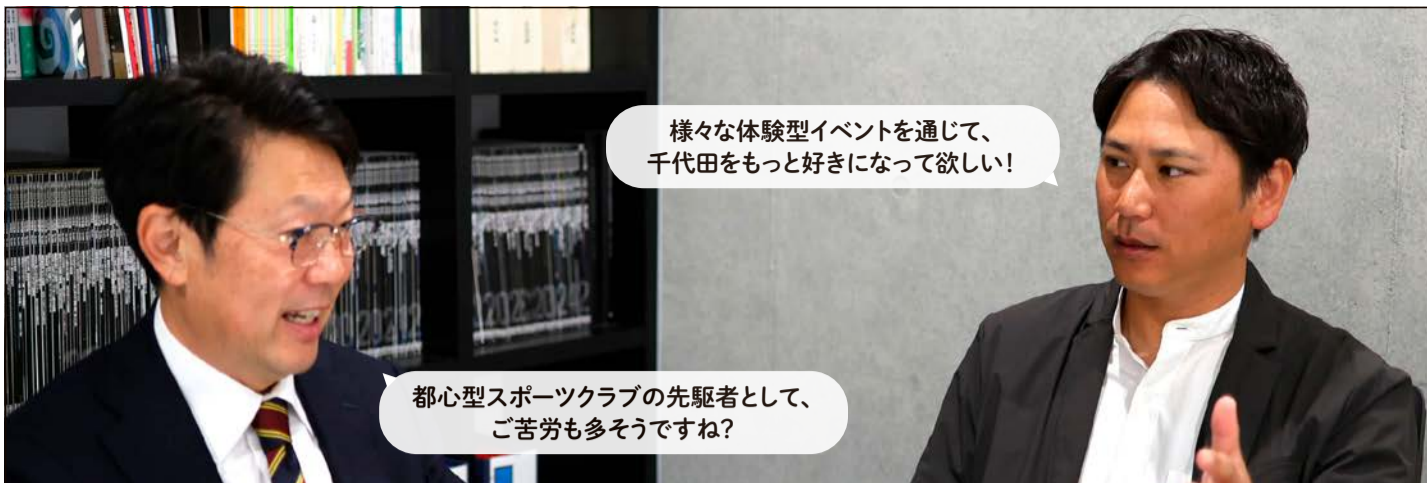
アテネでは美しい歴史的建物とは対照的に、街中の落書きが目立ちます。特に市内中心部では、商店や住宅の壁、公共施設にまで広がっていました。政治的メッセージを含むものもありますが、財政難で除去も進まず、残念ながら治安や清潔さには課題を感じる街でした。

Sense



中村圭伸
FC千代田代表／
千代田区サッカー協会副理事長
×
内田直之

まちづくりに関わる著名な方々と、内田直之との対談を連載でご紹介します。第8回目のゲストは、中村圭伸代表にご登場いただきます。



様々な体験型イベントを通じて、千代田をもっと好きになって欲しい!

都心型スポーツクラブの先駆者として、ご苦労も多そうですね?

都心有数のサッカークラブへ!

内田直之(以下、内田)：中村代表、本日はお時間を頂きありがとうございます。普段からお会いする機会が多いですが、こうして改めてお話を伺うのは新鮮ですね。早速ですが、まずはFC千代田について教えてください。

中村圭伸代表(以下、中村代表)：2010年、創業者の右田氏が「千代田区にサッカー環境を広げたい」との想いから立ち上げたクラブです。

2014年に私が代表に就任し、当初の幼児・小学生クラスに加えて、2017年には中学生クラスも新設しました。現在では、幼児、小学生、中学生(男・女)、保護者チーム、フットサルTOPPチームを擁し、約700人が所属する地域コミュニティに成長しました。OB・OGの中には全国大会に出場したり、海外で活躍する選手も出てきました。

内田：「サッカー不毛の地」とも言われた千代田区で、FC千代田はわずか15年で地域を代表するクラブへと成長しました。その成長の裏には、どのような育成方針や想いがあるのでしょうか。子ども達の育成において、特に大切にされていることを教えてください。

中村代表：私たちは「地域に根ざした都市型フットボールクラブ」を目指しています。子ども達の笑顔があふれ、サッカーを通して「笑顔」「感動」が広がる場所をつくることを大切にしています。「生懸命な姿から生まれる感動や、誰かのために時間を使う価値を学び、仲間を思いやる人を育てていきたい。応援されることの力、何かを共有する楽しさ、表現する喜びを知りながら、自立と自律を育むそんな成長の場でありたいと考えています。

内田：中村代表のお話から、FC千代田が単に技術を教える場ではなく、子ども達の人間的な成長を大切にされていることが強く伝わってきました。最近、情報や選択肢があふれるなかで、子ども達が自分らしさを見つけていくなるとも言われます。クラブの活動を通じて、そうした現代的な課題や子ども達の変化を感じることはありますか。また、そうした中でどの様に自立や思いやりの心を育んでいるのか、お考えを伺えればと思います。

中村代表：今の子ども達は多くの情報を自分で手に入れられる時代に生きていて、その分、自分で目標を設定する力も育ってきていると感じます。「こんなプレーがしたい」「こうなりたい」といった主体的な想いを持ち、自分の個性を理解している選手が増えています。クラブとしても、そうした理想に近づけるよう、

ストライカー育成、メンタルトレーニング、フィジカル強化、食育など、専門家による指導体制を整え、選手一人ひとりをサポートしています。

部活動の地域移行について

内田：文部科学省では、地域移行を「教員の負担軽減」と「地域での子ども支援」と位置付けていますが、千代田区では外注委託会社に丸投げされており、地域との連携が見られません。中村代表はどうお考えですか?

中村代表：これは中学の部活動に限った問題ではなく、地域における生涯スポーツのあり方そのものが問われていると思います。今、本当に必要なのは「この地域にスポーツ文化をどう根付かせるか」という議論です。

そのためには、地域や民間のスポーツクラブ、行政が真剣に話し合うタイミングにきていると感じています。地域でスポーツを生続けられる環境をどうつくるか、そこにこそ、これからの大きな課題があると思います。

内田：確かに「移行したこと」自体ではなく、「どう機能させるか」問われていると思います。最後に、FC千代田として今後どの様なクラブを目指しているのか、地域との関りも含めて展望をお聞かせください。

中村代表：様々なスポーツ関係者と協力しながら子ども達が「やりたい!」と思ったときにすぐに始められる環境を千代田に整えていきたいと思っています。そして、子ども達が学校の外でも輝ける場所を増やしていきたいです。

今後、スポーツを通じて「自分を育てる力」「アイデアを形にする力」「人を認める力」を育てられる、温かいクラブであり続けたいですね。また、地域とのつながりを大切にしながら、体験型のイベントなどを通じて、スポーツの楽しさを広げていきたいと考えています。



中村 圭伸
1984年船橋市生まれ、明治大学公共政策大学院修了。市立船橋高校時代は全国優勝を経験するも、スタンドからの応援という悔しさを味わう。高校卒業後はサッカーコーチとして活動を始め、26歳でWeb系企業に就職。30歳でFC千代田の代表に就任し現在に至る。趣味はサウナとゴルフ。

あとがき FC千代田は「地域に根ざした都市型サッカークラブ」として、子どもたちの笑顔と感動が広がる場を目指しています。サッカーを通じて、誰かのために行動する心や仲間を思いやる気持ちを育むこのクラブを、私もこれから全力で応援していきたいと思っています。

活動フォトギャラリー



ショートムービー撮影
プロフィール編と政策編を撮影しました。ご協力ありがとうございました。

富士見小ミニバスクラブ視察
世界で最も人気のスポーツ。ミニバスクラブも応援しています。



一般社団法人千代田区サッカー協会
創立10周年祝賀会
創立10年で、選手登録少年800名、社会人400名の規模となりました。

第10回千代田区サッカー大会
10回目となる記念大会。樋口区長もお越し下さいました。



神田スピリッツ視察
目指せ、大谷翔平。学童軟式チームも応援しています。

Action

千代田コラム

東京国際フォーラム

有楽町に位置する東京国際フォーラムは、旧東京都庁舎跡地の再開発によって誕生した都市型コンベンション施設です。1997年の開館以来、国際会議やコンサート、展示会など多彩な催しを通じ、千代田の文化・交流拠点としての役割を果たしてきました。設計は世界的建築家ラファエル・ヴィニオリ氏。船を思わせる全長200メートルのガラス張りアトリウムは、圧倒的な開放感と透明感を持ち、都市建築として高く評価されています。ホールA(約5,000席)をはじめ、大小8つのホールと会議室が整備され、国際的なイベントから地域の活動まで幅広く活用されています。



東京国際フォーラムは都心の文化・交流拠点として重要な存在ですが、周辺との連携には課題もあります。東京駅京葉線との接続は距離が長く、案内も分かりにくい、アクセシビリティに難があります。また、丸の内仲通りとの都市的連続性も弱く、にぎわいが分断されている印象です。今後はJRや民間事業者、行政が連携し、歩行者ネットワークを改めて整えていくことが求められます。

千代田コラムでは、身近にある魅力的な建物をご紹介します。これからも、千代田区に息づく名建築を探していきたいと思っています。

Sense

Profile

内田直之(うちだ なおゆき)

1964年、熊本市生まれ B型。
国立高専建築学科を卒業後、トステム株式会社(現LIXIL)に25年間勤務。事業企画室長、多くの開発プロジェクトの責任者を務める。働きながら明治大学公共政策大学院を修了。
2011年より千代田区議会議員を3期10年務め、議会運営委員長や予算委員長を歴任。2021年東京都議会議員選挙に立候補(次点)。一級建築士。

●学歴
国立有明高専建築学科 卒業
明治大学公共政策大学院 修了

●職歴
トステム株式会社(現LIXIL) 25年間勤務
U&D・パートナーズ一級建築士事務所 代表

●趣味
ひとり旅・サッカー・ゴルフ・Netflix・建物探訪

●所属団体
一般社団法人 千代田区サッカー協会 会長
千代田区軟式野球連盟 顧問
千代田区相撲連盟 顧問
千代田区ゲートボール協会 顧問
明治大学 校友会千代田区地域支部 副支部長
社会保険労務士会 千代田統括支部 顧問
公益財団法人 京葉鈴木記念財団 顧問
一般社団法人 東京建築士会